



ヒカルド・バセラル&アイアート・モレイラ 共同制作アルバム『Maracanós』をリリース



作曲家でパーカッショニストのアイアート・モレイラと、ピアニスト、作曲家、プロデューサーとして活躍するヒカルド・バセラルが共同制作したニューアルバム『Maracanós (マカカノス)』が、Jasmin Musicから2026年4月24日に各デジタルプラットフォームにてリリースされます。

インストゥルメンタル主体の本作は、ブラジルをはじめアメリカ、ポルトガル、フランス、ドイツ、中国、日本などで世界一斉配信開始となります。アルバムタイトルの「Maracanós」は、ブラジル先住民の楽器である「maraca (マカカス)」と、ポルトガル語の「nós (私たち)」を組み合わせた造語です。

一昨年から昨年にかけて行われた本作のレコーディングについて、ヒカルド・バセラルは次のように語っています。「アイアートはフォルタレーザにある私のスタジオ (ジャスミン・スタジオ) を二度訪れてくれました。一度目はシンガーのフローラ・プリムも同行し、シングル曲『Aqui, Oh!』(配信済み) とアルバム、現在制作中の長編ドキュメンタリー映画の撮影を行いました。二度目にフォルタレーザに来てくれた時には、アイアートと私は楽曲を書き上げ、『Maracanós』をレコーディングしました。このアルバムを作るきっかけはドキュメンタリー映画の撮影中に生まれたもので、私たち全員にとって非常に幸福で素晴らしい瞬間に満ちた時間となりました。」

アイアート・モレイラ

「現代パーカッションの父」と称されるアイアート・モレイラにとって、本作の制作プロセスは極めて刺激的なものとなりました。「すべてに満足しています。スタジオは素晴らしい、最高品質のレコーディングに必要なすべてが揃っています。演奏していない時に数秒程度歌うことはあるのですが、今回は自分の声を多用できました。私にとってこのアルバムは、寝そべて作品を作りながら同時に休息もできる心地よいベッドのような存在でした。」アイアートは今月、米ジャズ界における最高栄誉であるNEAジャズ・マスターズ・フェローシップを受賞します。これはジャズの発展に顕著な貢献をしたアーティストに贈られる称号であり、アイアートをジャズ史上最も重要な音楽家の一人に位置付けるものです。

アイアート・モレイラの原動力となっているのは「創造の自由」です。1960年代に渡米して以来、アイアートはマイルス・デイヴィス、ウェイン・ショーター、デイヴ・ホランド、ジャック・ディジョネット、チック・コリア、ジョン・マクラフリン、キース・ジャレット、サンタナ、ジョー・ザヴィヌル、ジャコ・パストリアス、アル・ディ・メオラ、スタン・ゲッツ、ジョージ・ベンソンといった、枚挙にいとまがないほどのジャズ界の伝説的アーティストたちと共演を重ねてきました。アイアートは自らの歩みを振り返って、「これら巨星たちとの共演は、私が常に創造性に対してオープンであった証です。作品を生み出すには、誰の邪魔もせず、また自分自身も混乱することなく、自らの音楽的本能を信じる必要があります。私は子供の頃からずっと自分の本能を信じてやってきました」と語っています。

フローラ・プリム

1974年から1977年まで4年連続で全米批評家が選ぶ「ベスト・ジャズ・シンガー」に輝いたフローラ・プリムは、1960年代後半から公私ともにアイアート・モレイラのパートナーであり、本作の収録曲「Voo da tarde」にもボーカルに特別参加しています。

ヒカルド・バセラル

ピアニスト、作曲家、プロデューサー。ジャスミン・ミュージック (Jasmin Music) レーベルを設立し、現在ブラジルで最も重要なレコーディング・スタジオのオーナーでもある。商業的に大きな成功を収めたリオのグループ「ハノイ・ハノイ (Hanoi Hanoi)」のメンバーとして長年にわたり活動。ソロアーティストとしてはベルキオールやイヴァン・リンス、ジルベルト・ジル、ファグネル、ロベルト・メネスカル、フラヴィオ・ヴェントゥリーニ、エドナルド、アメリカニャら、ブラジル音楽界の重鎮たちと共演を重ねてきた。全米のジャズラジオチャートで、これまで2度上位にランクインしており、ヨーロッパや日本でも公演を行っている。2024年には、東京のブルーノート・プレイスを含め日本国内8か所でライブを開催した。

音楽プロデューサーの中原仁氏からコメントいただいています：

「今年、85歳を迎えるアイルト・モレイラは、ブラジル南部サンタカタリーナ州の出身。60年代、サンバ・ジャズを演奏するサンバランソ・トリオのドラマーとして活動を始め、エルメート・バスコアルらとの伝説的グループ、クアルテート・ノーヴォを経て、60年代末に渡米した。

USAではアイアートの名でも呼ばれ、マイルス・デイヴィスのバンド、ウェザー・リポート、チック・コリアのリターン・トゥ・フォーエヴァーに参加。リーダー・アルバムも発表し、妻の歌手フローラ・プリムとのバンドでワールドワイドに活動した。アイアートはブラジルの多彩なリズムを導入し、ジャズ・フュージョンのリズム面の進化に大きく貢献した、一大クリエイターだ。

ヒカルドとアイアートは、アイアート&フローラのドキュメンタリー映画を制作中のジョム・トブ・アズレイ (『エリス&トム ポサノヴァ名盤誕生秘話』の共同監督でもある) を選んで出会い、2025年、フローラを加えた3人名義で『Aqui, Oh!』のシングルをリリース。そしてこのアルバム

の制作に至った。

全曲、ヒカルドとアイアートが共作した新曲で、ヒカルドのピアノ/キーボードとアイアートのパーカッションが立体的な音像を創りあげ、カラフルなサウンドが展開する。フローラ・プリンも1曲、ヴォーカルで参加している。

アイアートもフローラも、ジャズ、フュージョン、グローバル・ミュージックなど多彩な分野で国際的な名声を確立したが、海外生活が長かったこともあり、母国ブラジルでは、十分な評価を得ているとは言えない。このアルバムを通じてあらためて、彼らの独創的な音楽性をブラジルの人々に伝えたい、そんな、ヒカルドの真心も感じられるアルバムだ」

ホームページ：<https://jasminmus.com/en/home-en>

CÂMARA DE COMÉRCIO BRASILEIRA NO JAPÃO

1-4-1-507, Kita Aoyama, Minato-ku, Tokyo-to, Japan, 〒107-0061
Phone: +81-3-6447-2833 / Fax: +81-3-6447-2834

一般社団法人在日ブラジル商工会議所
〒107-0061 東京都港区北青山1-4-1 ランジェ 青山507

